資料　８

走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会以外で

いただいたご意見について

目　次

1　方策の検討について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2　学校規模について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

3　跡地利用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

4　地域や環境について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

1　方策の検討について

No.	内　容
1	これまで、様々な観点から協議してこられた中間報告として各協議会ごとに統廃合のメリット、デメリット、課題について整理されていると思うので公表してもらいたい。
2	統廃合問題が協議されていることは走水の住民は十分承知しており、今の状況では６年間、走水小学校に通学できるかどうか不安に思っている。途中で転校させるくらいなら初めから転校の心配のない学校にいかせているのが現実である。そのために走水小学校の児童数はさらに減少することになっている。この不安を払拭する方法はないものでしょうか。
3	学校の統廃合が児童数だけで決められるのであるなら、小規模校の統合はやむを得ないかもしれない。しかし、ますます少子化の進む中では、いつでも、どこでも児童数の減少は起こりうることで、その都度、統廃合を続けていかなければならなくなる。１学級の人数を減らすことも考えられている中で、少人数は本当に良くないのか。行政効率が良くないことはわかるが、教育は将来に向けての先行投資である。 そこで、教育面から小規模校の存在意義を十分検証し、存続させる方策はないものか、その可能性や条件について議論されることを期待したい。 なお協議会ニュースや会議録では統合後の校舎の利用方法や通学方法が協議されており（これも大事なことである）、すでに統廃合が決まったかのような印象を強く受けています。
4	走水小学校を馬堀小学校へ統合した場合でも、馬堀小学校は走水小学校よりも校舎が古いので建て替えが必要になるのではないでしょうか。また、馬堀小中学校を一貫校とする計画があるとの話が出ましたが、小中一貫校にする計画も馬堀小中に決まったのでしょうか？その際は小中の敷地のどこに建てるのか、校舎の建て替え中の子どもの学びの環境への配慮についてもまだ明確になっていないのに、小中一貫校が好条件になるかのような話を持ち出されていたと聞いているが、走水小学校を統合する好条件にはあたらないのではないかと思います。
5	協議会の開催の仕方についてです。「走水小学校は子どもの人数が少ないから廃校」へ向かっているかのような風潮を生み出し地元住民の生活に不穏な空気をもたらしています。 公の場で統合に反対賛成だけの意見の聴取だと後々の地区での風評を懸念して意見を出しにくいです。まずは走水地区全体のことを考えるワークショップ（参加希望市民が参加できる・司会進行は横須賀市の誘導ではなく）の開催を求めます。
6	「廃校、売却へ向けて動いている。」との噂が有るようで、更に「形だけの協議会、説明会で収めようとする意向が透けて見える対応。」との感想を聴きました。過去から今迄の横須賀市の動きを見ると、「さもありなん」と感じます。真摯に「市民が主役」である行政と対応を望みます。一昔前の考えから脱却して、地域資源を有効活用するアイデアを醸成、実現する協議会、説明会にして戴きたい。
7	日本で一番海に近い学校がある横須賀市の走水小をなくさないで欲しい、という意見が児童を通学させている走水学区の人だけでなく全市的に多数あります。走水小学校は横須賀市の財産として地域や民間団体と連携した環境学習の場にするなど、もっと活用の方法があると思います。

No.	内　容
8	実際子どもが海の生き物が好きで環境が良いので転校したいぐらい、という保護者もいます。
9	全市的に不登校児童・生徒が多く（937人）（この数字は1年間に30日以上登校できていない児童・生徒）喫緊の課題課と思われますが、魅力ある学校づくりや少人数クラスの達成には時間がかかりそうです。フリースクールも人気があるが横須賀市は少なく空きがない状況です。そこで走水小学校のような魅力のある学校・すでに少人数クラスが達成されているので、走水小学校への転入を促進してはどうでしょうか。
10	走水小学校をこどもの人数が少ないから廃校する、という考え方で終わらせないでもらいたいです。スペシャルな場所ではない、と言う方が協議会の委員の中にいたと聞いていますが、そのような考え方で走水小学校を廃校に導くことは許しがたい気持ちでいっぱいです。走水を市民レベルで活性化したいという団体や市民もいますし、走水海岸でビーチクリーンする団体も複数あります。
11	走水小学校からバスで馬堀小学校へ通わせれば良いとの話が協議会であったようですが、逆に目の前に京急バス停のある走水小学校への通学区を解放してもらい少人数の走水小学校に通いたい家庭を募る、という手段もあるのではないでしょうか。
12	小学校の廃校は単に学校がなくなるというだけでなく、現在でも高齢化が進み、若者が定住せず、空き家が続出している現状に拍車をかけ、走水の消滅につながりかねない。 走水小学校の廃校は教育委員会の範囲をこえた問題を含んでいる。まさに地域の将来に関わる大きな問題であり、政治的判断が必要と思われる。
13	現在走水小に通っている子どもや卒業した地域の子どもの意見を反映する場がない、と話していました。地区の子どもたちは統廃合に向けて少なからず不安に感じているようです。地域説明会のような大人向けの堅苦しい場ではなく、子どもたちも気軽に未来を語れるようなワークショップの開催はできないでしょうか。

2　学校規模について

No.	内　容
1	子供達だけの事を思うと、なるべくある程度の同学年の生徒数があり、その中で色々な考え方に接する事でコミニュケーション力が身についていくのではないかと思います。もちろんそれを苦手とする子供もいると思いますが。少人数では、得意な生徒の意見に他の生徒がうながされる事もあるのではないでしょうか。
2	高学年になればキャンプや修学旅行など集団活動はある程度の人数がいるからこそ盛り上がった活動ができ思い出作りになると思います。
3	馬堀小では9月に5年生がデイキャンプを行いました。5年生担任生徒全員が子供達がデザインしたクラスTシャツで揃え走水小前の海で貝広いでワクワクした事や肝試しをやってドキドキしたなど子供達から楽しかった話をいっぱい聞きました。保護者の方達からもキャンプ良かったねクラスTシャツみんな揃って凄く良い感じだねと言う声をいっぱい聞きました。色々な問題が解決し走水・馬堀の子供達が一緒になりこのような集団活動など楽しい学校生活をおくれる日がくると良いと思いました。
4	地域説明会もあったそうですが、地域説明会では走水小学校が人数が少ないことをデメリットにあげている内容について、卒業生の中学生が「デメリットに感じたことはない」「説明会の場では役所の人や地域の大人に対面で言える雰囲気ではなく声をあげられなかった」と会のあとに話していたそうです。

3　跡地利用について

No.	内　容
1	寺子屋 日本人として本当に必要な事を教えます。例えば、歴史と衣食住、不登校児童の問題解決に繋がると思います。子供だけではなく、大人も学べるのが理想です。
2	簡易宿泊施設 先ずは横須賀市立小、中学校の林間学校。校庭でテント泊、キャンプファイヤー海遊びなどいづれは横須賀市外からの宿泊客を受け入れる（日本人に限る）
3	地産地消のマーケット ポートマーケットは横須賀市民の為のマーケットではなくなってしまったので…農家さんの廃棄野菜を格安販売
4	コミュニティセンター 赤ちゃんからお年寄りまでが自由に集まれるような…
5	子供食堂 横須賀は子供の貧困が多くてびっくりです。地域に1つあるべきだと思います。
6	走水小学校を馬堀小学校へ編入する案ですが、小学校を現在の場所に残しつつ、高齢者施設と複合的な形で、超少子高齢化の横須賀の先進的なモデルにして欲しいです。
7	都心のシニアが海のそばの温暖で気候もよく、東京湾を見渡せる場所で、若いこどもたちから刺激を受け、また、交流をしていける施設にして欲しいです。
8	あんなに海のそばの学校はありませんが、歩いて０分で海釣りが出来る老人保健施設とか、まるで、ポニョの舞台のような学校とか、広報宣伝の仕方がいくらでも出来る立地だと思います。宣伝はUSJを復活させて刀のような、斬新で振り切った民間のマーケティングを活用した方がいいと思います。
9	廃校となった場合走水小学校跡をどうするのかという協議がないようです。走水小学校も学校跡地も何もかもなくしてしまうことに関しては走水地区の住民全体が反対なのではないでしょうか。学校の統廃合の話と同時に、学校がなくなった後のことも協議内容に入れていただきたいです。

4　地域や環境について

No.	内　容
1	走水小学校について、市民向けの見学会をお願いします。特に子供達対象。もっと素晴らしい意見がもらえると思います。
2	走水・馬堀の地域別協議会の日程の周知をHPだけでなく、まちこみメールや学校から保護者あての通知文で周知してほしい
3	傍聴定員を10人以上に増やしてほしい。
4	オンラインによる開催を希望する。
5	走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会には走水の一部の人だけしか参加していませんし、協議会の発足や趣旨がきちんと伝わる場が少なく、協議会ニュースについても管轄の大津コミュニティセンターにも置いてありませんでした。協議会の発足により、「走水小学校は廃校になる」との誤解を生み走水小から馬堀小へ子どもを転校させた家庭もあります。
6	都内や横浜などから山村留学でなく海洋留学のような形態も検討できないでしょうか。環境学習に適し、すぐにでも先進的な環境教育の実践ができるなど少人数校ならではの魅力をもち、先進的な学校モデルを創る良い機会として考えられないでしょうか。
7	走水小学校に通わせる児童がいなくても、走水地区では学校がなくなることへの懸念が強い、と聞いています。小学校がなくなるということは、地区での行事が圧倒的に減る。走水地区の活性化を失速させることにつながる。横須賀市は定住促進を図っていると思いますが、学校がなくなる地区へ若い世帯は定住しないと思われます。一方、走水地区は横須賀中央などの都市部にも海岸にも近く、馬堀海岸の直線道路から走水水源地公園がオープンし横須賀美術館までをつなぐ風光明媚な場所でもあり、海洋都市横須賀市として象徴的な存在にもなりえるかと思います。
8	走水小学校に通わせている保護者の方がビーチクリーンに来られ、走水小学校統廃合について不安感や協議会のお話を伺いました。現在走水小学校に通っている子どもたちは走水小学校に愛着を感じていて、教員と児童の距離が近いこと、つりクラブなどの環境の良さなどをあげていました。さらに子どもが走水小学校に通い続けることができなくなるのでは、と話をしていました。